

避難の呼びかけ体制検討カード 一覧表

次の意見は、県内の自主防災組織を対象に呼びかけ体制づくりワークショップを実施した際に、組織側から多く出された意見を抽出したものです。

5. 呼びかけの順番
①【会長・副会長→住民】の順に呼びかける。
②【会長・副会長→役員→住民】の順に呼びかける。
③【会長・副会長→班長→住民】の順に呼びかける。
④【会長・副会長→役員→班長→住民】の順に呼びかける。
⑤ 上記以外の意見を自由に記入してください。
6. 呼びかけ担当者不在時の対応
呼びかけ担当者が不在の場合に、誰がどのように対応するかを検討し、組織で採用したい意見をカードに記入してください。 (例：会長が不在の場合は、副会長が代行する。)
7. 呼びかけのタイミング
① 大雨注意報（警戒レベル2）
② 大雨警報
③ 警戒レベル3
④ 警戒レベル4
⑤ 上記以外の意見を自由に記入してください。
8. 呼びかけの範囲・優先度
① 全世帯
② 災害が想定される区域の世帯
③ 高齢などの要配慮者
④ 上記以外の意見を自由に記入してください。
9. 呼びかけ方法
① 固定電話
② 携帯電話
③ 戸別訪問
④ メール
⑤ LINE などのアプリ
⑥ 防災無線や戸別受信機
⑦ 上記以外の意見を自由に記入してください。
10. 呼びかけ内容
「自主防災組織による避難の呼びかけ体制づくりマニュアル」の42～43ページを参考にして、住民に口頭で避難の呼びかけを行う際に、避難行動につながりやすくなると思う呼びかけ内容（メッセージ）を検討し、カードに記入してください。
11. 呼びかけ・避難の確認方法
① 最後に呼びかけられた人が、会長や役員に、呼びかけ完了の報告をする。
② 住民に避難を呼びかけた人が、会長や役員に、呼びかけ完了の報告をする。
③ 呼びかけの順番と逆順に報告をする。
④ 避難所で名簿と避難者を突合し、避難の完了を確認する。
⑤ 上記以外の意見を自由に記入してください。